

特別講義の趣旨

ミーゼスの名著“Human Action”に、『いわゆる「オーソドックス」な経済学は、ほとんどの国の大学から締め出されているので、有力な政治家、政治屋や著述家はほとんどそれを知らない』（p.9）とあります。

このセミナーでは、その「オーソドックス」な経済学に触れません。

ミーゼスは、価値の本質は「物に内在するものではない。それは我々の心の中にある」（p.111）とします。他人の成果を評価し、尊重することで交換が始まり、他人の仕事の成果を享受することが可能になるとしています。

ミーゼスの視点から政府の役割を知ることは、行政の効率化を画する者にも、その成果を測定しようとする者にも重要です。

この講義では、ミーゼスを研究されている國學院大学の尾近先生にミーゼスについての解説をいただきます。その後、日本でミーゼスの啓蒙を続ける村田先生に、「ヒューマン・アクション」についてご講義いただきます。

スケジュール 2011年8月6日

11:30 -11:40 :開講挨拶

11:30 -13:00 :ミーゼスを語る

尾近裕幸（國學院大學経済学部 教授）

13:00 -13:30:昼食

13:30-14:00 :自由経済をしゃべる

Marc Abela（ミーゼス研究所ジャパン 代表）

14:00-15:30 :ヒューマン・アクションを語る

村田 稔雄（横浜商科大学名誉教授）

15:30-16:00 : 質疑応答

16:00-16:10 : 謝辞

外部からの受付

本講座に余席がある限り、外部からの参加を受け付けます。

ご希望の方は、 Marc Abela (mabela@mises.jp)
または、吉田 (catallaxy@mac.com) までご連絡ください。

会場までのアクセス

中央線小淵沢駅が最寄り駅です。午前9時新宿発のあずさ9号は午前11時8分に小淵沢駅に到着します。この列車にあわせて、小淵沢駅までお迎えいたします（予定）。



ルードヴィヒ・フォン・ミーゼス

Ludwig von Mises

1881年9月29日に

オーストリア・ハンガリー生まれ

経済の発展が「私有財産制と分業」にあるとし、計画経済の脆弱性を指摘する。このため、ナチスに疎まれ1940年米国にわたりニューヨーク大学で教鞭をとる。ハイエクやフリードマンもミーゼスに学んだ。

尾近 裕幸（國學院大學経済学部 教授）

オーストリア学派経済学を研究領域として、ミーゼスと、ミーゼスに学んだハイエクについて研究されている。

翻訳

F.A.ハイエク『社会主義と戦争』

（ハイエク全集 第II期 第10巻）春秋社

村田 稔雄（横浜商科大学名誉教授）

1923（大正12）年、高知市生まれ。

大陸で陸軍に勤務、除隊後物価査定委員会

“Human Action”に出会い、ウィリアム・

フォルカー奨学生として、ニューヨーク大学

に留学。ニューヨーク大学で直接ミーゼスの

指導を受ける。同大学MBA（経済学専攻）

横浜商科大学教授学部長、学長を経て、名誉

教授。現在は長野県原村に居住

訳書（ヒューマン・アクションの他に）

ミーゼス著『自由への決断』広文社

ミーゼス著『経済科学の根底』日本経済評論社

マルギット・フォン・ミーゼス著

『ミーゼスの栄光・孤独・愛』日本経済評論社